

登 館 届

あさひ児童館 館長 様	
	学童名 _____
病 名 【 _____ 】	
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医療機関名「 _____ 」において 症状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので、登館いたします。	
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
保護者 _____ (印)	

【保護者様】

児童がよくかかる下記の感染症については、登館のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登館届の提出をお願いします。なお、園での集団生活に適応できる状態に回復してから登館するよう、ご配慮ください。

◎医師の診断を受け、保護者が記入する登館届を求める感染症

病 名	感染しやすい期間	登館のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているため注意が必要)	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある期間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹(ヘルペス)	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化してから
突発性発疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

◎場合によっては、医師の診断や治療が必要な感染症

病名	感染しやすい期間	登館のめやす
伝染性膿痂疹 (とびひ)	湿潤な発疹がある間	皮しんが乾燥しているとか、湿潤部位が覆える程度のものであること (皮しん・痂皮が湿潤している間は、接触による感染力が認められる)
伝染性軟属腫 (水いぼ)		掻きこわし傷から、滲出液が出ているときは被覆すること
頭じらみ	発症から駆除開始し数日間	駆除を開始していること

* その他：原因不明の発熱、咳、嘔吐、下痢、発疹などの症状があるとき

1. 伝染性膿痂疹（とびひ）は、擦り傷、虫刺され、あせも、アトピー性皮膚炎等の小さな傷から細菌が感染します。 感染した場合には、病院で診察を受けて正しい対応をするように、保護者をお願いします。 感染している人の膿の入った水ぶくれが潰れて、中の菌があちこちに飛び火のように広がる病気です。従って、膿んでいる部分が露出しないように覆うことと、プール遊びなどで子どもたちが裸で接触する可能性がある場合は、**医師の診断に基づき、保護者の「登館届」の提出をお願いします。**
2. 水いぼは、皮膚や粘膜のウィルス感染症で、完治には長い期間がかかる場合もあり、感染しても熱や特別な症状が出ないため、自然に治るのを待つ、と言う考え方と、周りの児童に伝染することを防ぐために積極的に治療すべきだ、と二つの考え方があります。
感染した場合には、全身に広がる前に病院で診察を受けて正しい対応をお願いします。
 - ・ **症状により、医師の意見書（診断書）又は保護者の「登館届」の提出をお願いします。** 感染をするのを防ぐため、膿んでいる部分が露出しないように覆うことを保護者をお願いします、プール遊びなどで子どもたちが裸で接触する機会が多い場合は、症状が軽い子に限り、別の場所で水遊びをするように配慮します。
3. 頭じらみは、感染している人との直接・間接の接触やスイミングプールなどで感染する場合があります。 感染に気付いたら直ぐに皮膚科などの診察をお願いします。

お医者様の診断に基づき、しらみを駆除するパウダーやシャンプーを使用しますが、状況を「登館届」に記入して、館に提出願います。 プール遊び開始前に各家庭でしっかりとチェックをしていただき、感染が疑われる場合は薬やシャンプーでの駆除をお願いします。館では、すぐに同じプールで遊ぶことは避けて、治療の結果を観察して、他への感染がなくなるまで、別の場所での水遊びとなります。